
 日本環境動物昆虫学会誌投稿規定

1. 投稿者のうち筆頭著者，または責任著者 (corresponding author) は個人の正会員および名誉会員に限るが，共著者には会員以外を含むことができる。ただし，日本国外からの非会員の投稿原稿については，投稿料¹を徴収の上掲載することができる。依頼原稿はこの限りではない。
2. 本誌は原著 (Original Articles)，短報 (Short Communications)，総説 (Reviews)，資料 (Notes)，技術資料 (Technical Notes)，解説 (Scientific Topics)などを登載し，その他に新著紹介，学会記事などを収める。投稿論文は生活環境に係わる動物，昆虫に関するものとする。投稿する原稿は未発表のもので，他誌に投稿中ではないものに限る。なお，短報は断片的だが掲載価値のあるデータに基づく小論文，資料は新規性の点で原著にならないが資料価値を有する論文，技術資料は事例報告主眼の論文とする。
3. 爬虫類・鳥類・哺乳類を用いた動物実験および人体実験を伴う研究は，所属研究機関の研究倫理審査委員会で承認されたものでなければならない。
4. 産学官連携研究活動等にとまなう利益相反関係が存在する場合，投稿時に申告する必要がある。
5. 遺伝資源を扱う研究は，遺伝資源の取得の機会及びその利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分に関する指針 (ABS 指針) を遵守しなければならない。
6. 原稿の採否は別に定める編集委員会によって決定する。編集委員会は，2名以上の査読者の意見に基づいて，採否，修正の必要性などを決定する。掲載順序は原則として受付順序にしたがうが，前後することがある。
7. 和文原稿は原則として MS Word などで作成し，A4判をタテ長に使い，25字×32行でダブルスペース以上の間隔をとる。口語体で現代かな使いによる平仮名を用い，できるだけ常用漢字を用いる。英文原稿も MS Wordなどで作成し，A4判をタテ長に使い，ダブルスペース以上の間隔をとる。左右上下を3cm以上あける。すべての行および頁に番号をつける。
8. 表，図，写真はできるだけ少数にとどめ，それぞれ A4版1枚ずつに分け，本文とは別にまとめ，挿入場所を本文中に赤字で示す。
9. 原稿中の英文については，学会が指定する英文校閲者によって校閲を受けなければならない。その費用の一部を学会が補助することができる²。
10. 校正は初校のみを著者校とする。この際，誤植のなおし以外の加筆，校正はおことわりする。
11. 原著論文，総説，資料，技術資料，解説は刷り上がり20頁以内，短報は6頁以内とし超過分は実費を著者負担とする。
12. 別刷は著者の希望に応じ，希望部数を原稿送付状に明記する。30部は著者に贈呈するが，30部を越える分については，実費を著者負担とする。PDF版を希望する場合には，事務局で相談に応じる。
13. 原稿は原稿送付状 (ホームページよりダウンロード可能) と共に，電子メールの添付書類として下記アドレスに送付する。著者が複数の場合は，同時に共著者全員にも cc で送付する。電子メールが利用できない場合や原図の電子データがない場合は，書留便等を用いて原稿のコピー1部と原稿送付状を下記編集委員会に送付する。その場合，原稿校閲後受理が決定した時点で，原稿を入力した電子媒体 (USBメモリなど) と原図を編集委員会に，書留便等で送付する。なお，原稿は，図，表とともに希望のない限り返却しない。

メールアドレス r.takagi@f2.dion.ne.jp

〒550-0005 大阪市西区西本町 1-11-1
(本町セントラルハイツ 407)

日本環境動物昆虫学会編集委員会

14. 本学会発行の出版物に掲載される著作物の著作権は、原則として本学会に帰属させる。著作者自身が管理する web サイトへの掲載や、著作者が所属する法人もしくは団体の web サイトへの掲載（機関リポジトリへの保存及び公開を含む）は、別に定める「機関リポジトリへの本学会誌「環動昆」の論文等の登録手続きについて」にしたがって手続きをする。但し、以下の場合に、著作者は、自身の論文等の全部または一部を、著作権が本学会に帰属することと、出典（本誌誌名、掲載巻号、ページ）とを明記することにより、本学会に通知することなく公衆送信、複製、翻案するなどの形で利用することができる。

- (a) 著作者自身が講演者として行う講義・講演での資料への掲載
- (b) 著作者自身が著者として公刊する著作物への掲載
- (c) その他、これらと同等の著作者自身による学問的活動

(付記)

- 1 において投稿料は 8,000 円（1 件あたり）とする。
- 2 において補助額は 10,000 円（1 件あたり）とする。

投稿上の注意

1. 原著論文と総説は、次の順序にしたがって記載する。
和文原稿の場合: a) 表題 b) 簡略表題 c) 著者名 d) 所属 e) 英文表題 f) 英文著者名 g) 英文所属（住所） h) 英文抄録 i) キーワード j) 和文抄録 k) 本文 l) 引用文献
英文原稿の場合: a) 表題 b) 簡略表題 c) 著者名 d) 所属（住所） e) 和文表題 f) 和文著

者名 g) 和文所属 h) 和文抄録 i) 英文抄録 j) キーワード k) 本文 l) 引用文献

2. 短報の形式は 1 に準ずる。ただし、本文中の「結果」と「考察」は独立させずに「結果と考察」とする。和文短報では和文抄録を省く。資料及び技術資料の形式は 1 に準じ、和文の場合には英文抄録を付けることが望ましい。
3. 解説は和文を原則とし、形式は 1 で規定された和文原著論文に準じるが、和文抄録は省く。
4. 英文所属（住所）は必要最小限の記述にとどめる。
(例) Research Laboratory, Dainihon Jochugiku Co., Ltd., Toyonaka, Osaka 561-0827, Japan.
5. 英文抄録は 300 語以内（短報では 100 語以内）、和文抄録は 600 字以内とし、本文にふれられているもののみを記述し、図表の番号などを引用しない。
6. キーワードは、6 語以内（英語）とし、アルファベット順に記載する。
7. 謝辞は、本文の末尾に入れる。
8. 動植物名は、和文抄録、英文抄録、本文原著では初めて登場した場合、和文原稿では和名+学名+命名者名、英文原稿では学名+命名者名または英名+学名+命名者名で表わす。ただし、種名が特定されていない場合（属 sp. など）、図表中に学名のリストが示されている場合は、この限りではない。主要な動物の学名については発表年を付記しても良い。再度用いるときは、和名、英名または略学名とする。

9. 動植物の和名、外来語はかたかなとし、数字は算用数字を用いる。学名、外国名（地名、人名など）はアルファベットで綴り、本文中の属、種小名はイタリックとし、下記のように指定する。

(例) *Papilio xuthus* Linnaeus

10. 原著と短報の図表（内容、表題、説明）は英文に統一する。図の標題（説明文や但し書

きを含む)は各図にはそれぞれ書かないで、別紙に「図の説明」として箇条書きにまとめる。総説、解説、資料及び技術資料の図表も英文が望ましい。

各図には「Fig. X, 著者名」を枠外に付記して区別できるようにし、本文原稿にはその挿入場所を原稿の欄外に指示する。各表についても、その挿入場所を原稿の欄外に指示する。図は印刷原稿として使用可能なものを投稿する。不完全な図は下図料を申し受ける。サイズや形式を整え、特別の費用を要する図表などは著者負担とし、アート紙使用および写真のカラー印刷を希望する場合はそのことを余白に明記し、実費を著者負担とする。図表をデジタルデータとして作成する場合には、別に定める「環動昆誌図表作成ガイドライン」を参照すること。

11. 文献は、本文で引用したもののみを記載する。著者名は、アルファベット順に配列し、次の順序で記述する。

著者名(発表年)表題. 掲載誌名 巻(必要に応じて号数を記入する): ページーページ. 単行本の場合は、著者名(発表年)書名. 発行所, 発行地.

- (例 1) 辻 英明・種池与一郎(1989) 非天然アルドペントース4種などのゴキブリに対する摂食行動誘起作用. 環動昆 1: 27-30.

- (例 2) 石井象二郎(1969) 昆虫の生理活性物質. 南江堂, 東京.

- (例 3) 桜谷保之(1998) 定性調査法. 「チョウの調べ方」日本環境動物昆虫学会編, pp. 15-29, 文教出版, 大阪. (単行本の一部を引用する場合)

- (例 4) Hagen, K. S. and G. L. Finney (1950) A food supplement for effectively increasing the fecundity. *J. Econ. Entomol.* 43: 735-737.

- (例 5) Brown, A. W. A. and R. Pal (1971) *Insecticide Resistance in Arthropods*. World Health Organization, Geneva.

- (例 6) Murdie, G. and M. P. Hassell (1976) Food distribution, searching success and predator-prey models. In "Mathematical Theory of the Dynamics of Biological Population" (Bartlett, M. S. and R. W. Hiorns, eds), pp. 87-101, Academic Press, London. (単行本の一部を引用する場合)

- (例 7) 気象庁(2014) 気象統計情報. <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> (2014年6月6日アクセス). (URLを引用する場合、はじめの括弧の年代は最終更新年)

12. その他くわしくは、本誌最近号を参考にすること。

図表作成のガイドライン

1. 図のサイズ.

図のサイズは刷り上がりのカラム(段)の幅に合わせることを意識して、作成する。環動昆誌の1カラムの幅は83 mmであるので、図の幅は83 mm(1カラム分)か174 mm(2カラム分)、あるいは128 mm(1.5カラム分)を想定して作成する。査読用として大きなサイズの図も投稿可能であるが、その場合も刷り上がりを想定して図の各部(記号、フォントサイズ、線の幅など)のサイズを調整する。

2. 図のフォーマットと解像度

グラフなどの線画の場合: 可能な限りベクトル形式画像*1として作成する。ベクトル形式画像は、Adobe IllustratorやCanvas、Corel DRAW、花子、Microsoft PowerPointなどの商用ソフト、およびInkscapeやLibreOffice Drawなどのフリーソフトで作成可能である。線画をラスタ形式画像(後述)として投稿する場合には、解像度

は 1,200 dpi 以上 (1 カラム幅の場合、水平方向に 4,000 ピクセル以上) とする。Microsoft Excel で作成したファイルも受け付けるが、刷り上がりイメージの確認のため PDF ファイルも同時に送ること。

モノクロ写真やカラー写真などのハーフトーンイメージ (ラスタ形式画像*2) の場合：写真などでは解像度は 300 dpi 以上 (1 カラム幅の場合、水平方向に 1,000 ピクセル以上) とする。なお、冊子体にカラー写真を掲載する場合には追加料金が発生する。

線画とハーフトーンイメージの両方を含む図の場合：解像度を 600 dpi 以上 (1 カラム幅の場合、水平方向に 2,000 ピクセル以上) とする。

ファイルフォーマットは、EPS, SVG, WMF または EMF (線画) や TIFF, JPG, BMP, PNG または GIF (ハーフトーンおよび線画とハーフトーン両方を含む図)、あるいはそれらを Microsoft Office ファイル (DOC, DOCX, PPT, PPTX) に貼り付けたものとする。

*1: ベクトル形式画像は、線 (ベクトル) で図形を表現するため、拡大縮小しても輪郭線の滑らかさが保たれる。

*2: ラスタ形式画像は、領域をごく小さな格子に区切り、その格子内を任意の色で塗りつぶす形式の画像である。デジタルカメラやスキャナのデータはラスタ形式である。ラスタ画像は拡大率を大きくすると格子が目立ち画質が低下する。格子の大きさは dpi (dots per inch) で表され、数字が大きくなるほど画像の情報量が増え、拡大にも耐えられる。

3. 図中の文字

フォントはサンセリフ体 (ゴシック、Arial、Helvetica など) に統一するのが望ましい。フォントのサイズは刷り上がりで 8-12 ポイントとする。影付けや白抜きなどによるフォントの修飾はしない。

4. 表

表のレイアウトは適切にデザインする。タイトルや行・列の見出しは簡潔かつ、本文を参照しなくても理解可能であるようにする。記号や略語は表の説明か脚注で定義する。色や網掛けは使わない。表は Microsoft Word において表として作成するか貼り付ける (図として貼り付けない)。Microsoft Excel ファイル (XLS, XLSX) も受け付ける。

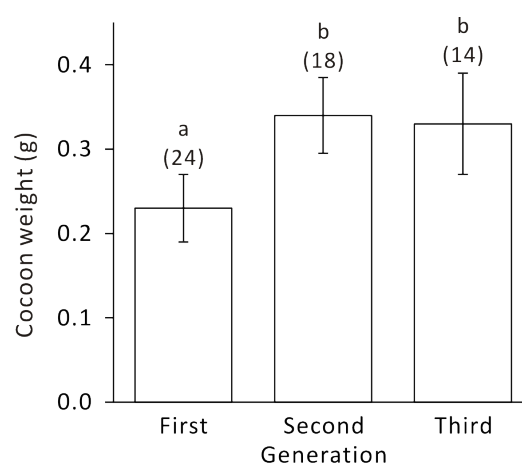


Fig. 1 Means and standard deviations of the cocoon weight of three generations in *Lymantria anonymosa*. Numbers in parentheses represent sample sizes. Means with the same letter are not significantly different from each other (Tukey–Kramer test, $P > 0.05$).

線画の例

An example of the line art



Fig. 2 Cocoons of *Monema flavescens*; intact (left) and broken by a bird (right).

ハーフトーン画像の例
An example of the halftone art

Notes for contributors

1. At least one author of each manuscript submitted for publication must be an individual member of the Japanese Society of Environmental Entomology and Zoology (JSEEZ). Nonmembers may submit a manuscript if they are specially asked for a submission by the Society. Overseas nonmembers are allowed to contribute manuscripts with payment of printing fees.*
2. Unpublished Original Articles, Short Communications, Reviews, Notes, Technical Notes and Scientific Topics are accepted for publication in the journal in addition to our Society news and book reviews. All contributions should be original and related to or deal with environmental sciences based on zoology and (or) entomology. Short Communications deal with new discoveries that should be published promptly due to their novelty, but for which supportive evidence is fragmental and inadequate for publication as an Original Article. Notes describe scientific evidence and (or) survey data that are worthy of publication. Technical Notes summarize or introduce new technologies, such as applications.

3. Research involving animal experiments using reptiles, birds, or mammals, or human experiments must be approved by the ethical review board of the associated research institution.
4. In cases in which there are potential conflicts of interest associated with industry, academia, and government collaborative research, this must be stated at the time of submission.
5. Research that involves genetic resources must comply with the Guidelines on Access to Genetic Resources and the Fair and Equitable Sharing of Benefits Arising from their Utilization (ABS Guidelines).
6. The decision to accept or reject an article for publication is made by the Editorial Committee (EC) of JSEEZ. The EC decides on acceptance or rejection, the need for revisions, etc., based on the opinions of two or more reviewers. In principle, all papers accepted for publication will be published in the order of receipt in acceptable form.
7. Manuscripts must be prepared as Microsoft Word file (*.doc or *.docx) with double spacing using page size A4 (or ca. 20 × 30 cm). Margins (top, bottom, and both sides) should be 3 cm. All lines and pages should be accompanied with consecutive numbers.
8. All tables, figures, and photographs should be on separate sheets and attached at the end of the text. Their number must be kept to the absolute minimum. Interposing positions should be shown in red in the text.
9. A native English-speaking reviewer appointed by JSEEZ will examine papers written in English. Expenses will be partly covered by the Society.**
10. First galley proofs are forwarded to the authors for corrections. Corrections must be strictly limited to printing errors. No amendments or changes to the manuscript will be allowed.
11. Authors should limit the page length of all papers

except Short Communications to within 20 printed pages. Short Communications should be kept within 6 printed pages. Excess pages will be charged at cost.

12. Thirty-reprints of each published paper are provided free of charge. Additional reprints, when requested at the time of submission of the manuscript, should be purchased by the authors. Please inquire with the Society office if PDF versions are desired.

13. The manuscript should be sent to the Editorial Committee (EC) by e-mail. Simultaneously, it should be sent to all co-author(s) as carbon copy. Otherwise a copy of the manuscript and a cover letter should be send to EC at the following address:

The Japanese Society of Environmental Entomology
and Zoology,

Honmachi Central Heights 407, 1-11-1,
Nishi-Honmachi, Nishi-ku, Osaka 550-0005,
Japan

(Tel & Fax: +81-6-6535-4684)

e-mail: r.takagi@f2.dion.ne.jp

14. The rights to articles carried in the Society's publications shall, as a rule, be held by the Society. To post on websites managed by authors' themselves or on websites of legal entities or organizations to which the authors' belong (including reposition and public disclosure in institutional repositories), the separately specified procedures for "registration of works carried in the Japanese Journal of Environmental Entomology and Zoology in institutional repositories" shall be followed. However, in the following cases, and by clearly stating that the rights to the work are held by the Society and properly citing the work (journal name, volume number, page numbers), authors may use their own articles or other works in full or part for public transmission, reproduction, adaptation or other purposes without notifying the Society.

(a) Inclusion in materials for a lecture or presentation given by the author him- or herself

(b) Inclusion in publications published by the author him- or herself, with him- or herself as the author

(c) Other similar academic activities by the author him- or herself

*8,000 Japanese yen/paper, **10,000 Japanese yen/paper

Instruction for contributors

1. Original Articles and Reviews should be prepared to contain the following: 1) title, 2) running title, 3) authors' names, 4) affiliations (address), 5) abstract (less than 300 words), 6) keywords (total up to 6, in alphabetical order), 7) Japanese title, 8) authors' names in Japanese, 9) affiliations (address) in Japanese, 10) abstract in Japanese (less than 600 letters), 11) text, 12) acknowledgement (if any), and 13) references. Non-Japanese authors can omit requirements 7) to 10).

2. Short Communications should be prepared as Original Article, but results and discussion should be combined into one section entitled, "Results and discussion".

3. Scientific Topics should be written in Japanese as a rule. Authors wishing to submit Scientific Topics in English are recommended to consult EC beforehand.

4. Authors' affiliation and address should be minimized.

[Example] Research Laboratory, Dainihon Jochugiku Co., Ltd., Toyonaka, Osaka 561-0827, Japan.

5. When names of animals and plants first appear in the text, common names followed by the scientific names and authority without abbreviation of the genus name should be used. For the scientific names of the key animals, the publication year may be

included. This rule shall not be applied when the species name is not specified (e.g. genus sp.) or a table listing scientific names with authorities of animals or plants is provided. Scientific names should be italicized.

[Example] *Papilio xuthus* Linnaeus

6. Computer-generated figures are acceptable. Otherwise figures should be clearly drawn so that they can be reduced to two-thirds of the original size. If figures and tables are unsuitable for printing, the authors will be asked to cover expenses for their tracing and reproduction. Captions and provisos should be placed below the titles of figures or given as footnotes. Special requests such as use of fine art paper and color photographs should be clearly shown in the marginal space of sheets. The authors are requested to cover the actual cost of printing for special requests. For more details on figure format, refer to the artwork guidelines.

7. All references that are quoted in the text should be alphabetically listed as follows: authors names, year of publication (in parentheses), title, name of journal, volume number (with number of issue, if necessary), and page number. References to books should be given in the following style: authors' names, year of publication (in parentheses), book's name, page number, publisher's name, location of publisher. In Short Communications the title of each paper is omitted.

[Example 1]

Hagen, K. S. and G. L. Finney (1950) A food supplement for effectively increasing the fecundity. *J. Econ. Entomol.* 43: 735–737.

[Example 2]

Murdie, G. and M. P. Hassell (1976) Food distribution, searching success and predator-prey models. In "*Mathematical Theory of the Dynamics of Biological Population*" (Bartlett, M. S. and R.

W. Hiorn, eds), pp. 87–101, Academic Press, London.

[Example 3]

Brown, A. W. A. and R. Pal (1971) *Insecticide Resistance in Arthropods*. World Health Organization, Geneva.

[Example 4] When citing a URL, the year in the first parentheses is the year of the last update.

Japan Meteorological Society (2014) Meteorological Statistics. <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> (accessed June 6, 2014).

8. For further details regarding format, consult recent issues of the journal.

Artwork guidelines

1. Figure size

Figures should be sized to fit in the column width. The width of one column is 83 mm in this journal. So, the width of figures will be adjusted to 83 mm (1 column width), 174 mm (2 column width) or 128 mm (1.5 column width). Enlarged figures are acceptable for reviewing but sizes of each part of figures (symbols, font sizes, line width and so on) must be adjusted to sizes in printing.

2. Image format and resolution

If possible, line arts, such as charts, should be created as vector images, which can be fully-zoomable without any deterioration in the image quality. Vector images can be created using some commercial software, such as Adobe Illustrator, Canvas, Corel DRAW, Justsystem Hanako and Microsoft PowerPoint, and some free software, Inkscape and LibreOffice Draw. If you submit line arts as raster images, the resolution must be 1,200 dpi or more (> 4,000 pixels in x-axis for 1 column width). Microsoft Excel files are also acceptable but PDF files must be accompanied for confirmation of printed images.

Halftone arts (raster images), such as pictures in grayscale or color, must have the resolution of 300 dpi or more (> 1,000 pixels in x-axis for 1 column width). Color pictures take some additional costs for printing on the author(s).

Combination arts, including both line art and halftone art, should have a minimum resolution of 600 dpi (> 2,000 pixels in x-axis for 1 column width).

The preferred file format is Microsoft Office files (DOC, DOCX, PPT, PPTX) containing EPS, PDF, SVG, WMF or EMF data for line arts, TIFF, JPG, BMP, PNG, GIF for halftone and combination arts.

3. Figure lettering

Fonts are preferably unified to sans-serif (Arial or Helvetica). Font size should be 8-12 points in the printing scale. Decollating effects of fonts, such as shading and outlining, should be avoided.

4. Tables

Table layout must be well-designed. Titles, row and column headers should be short but understandable without reference to text. Symbols and abbreviations should be defined in the legends or footnotes of the table. Don't use no color or shading. Tables must be created or pasted as table, not as image, in Microsoft Word. Microsoft Excel files (XLS, XLSX) are also acceptable.